

平成18年12月27日

検査機器・施設の老朽化が進んでいます

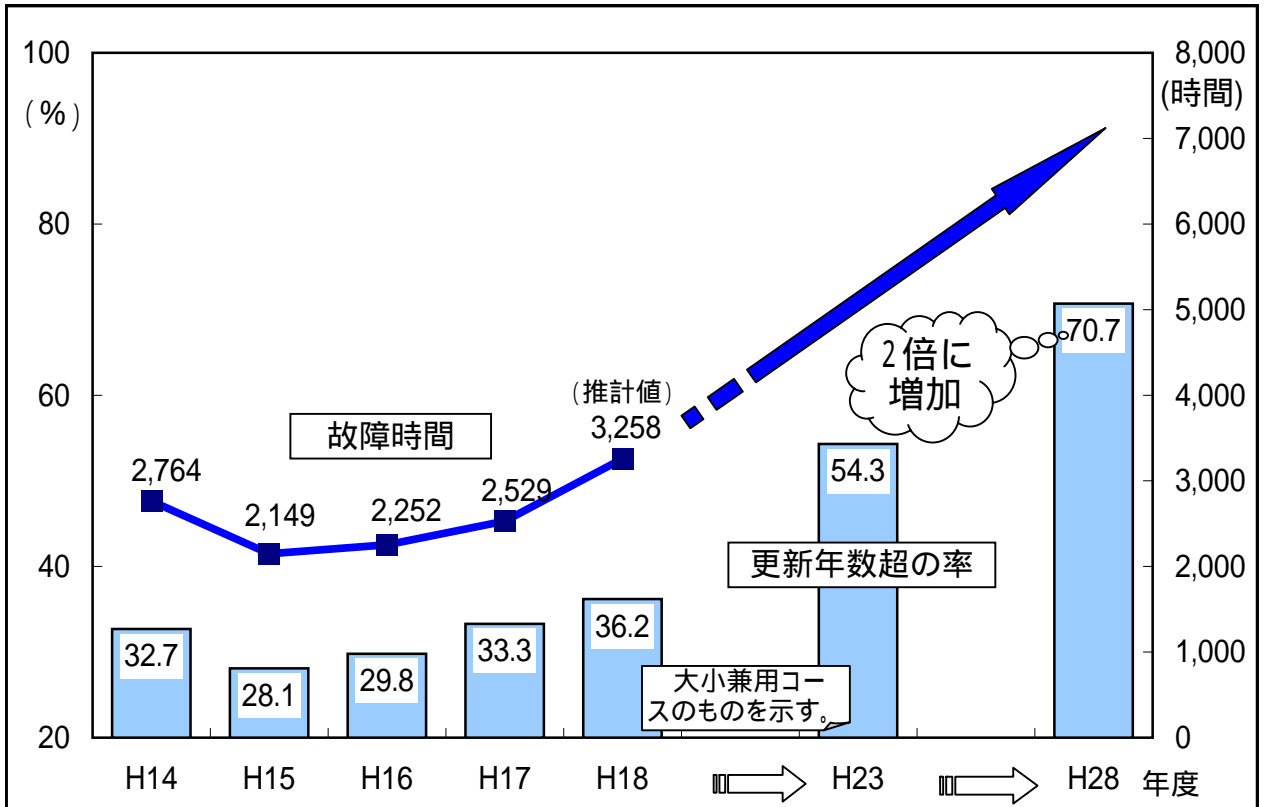
- 故障多発による受検者へのサービス低下が懸念 -

1. 自動車検査独立行政法人（略称：自動車検査法人）は、安心・安全な自動車社会に向けて、自動車の安全性の確保及び公害の防止のために検査を実施しています。
2. 厳正な検査の前提となる検査機器と施設については、適切な維持管理に努めていますが、近年、検査機器の更新が滞り、検査機器の老朽化が懸念されます。
平成18年度までの検査機器更新ペースでは、当法人が使用する検査機器のうち、更新基準10年を超える検査機器の割合が10年後に現在の約2倍の約70%になる可能性があると思込まれます。
このまま検査機器の老朽化が進めば、機器の故障発生率が高まり、検査コース閉鎖時間が2倍程度に著増することも予想され、受検者へのサービス低下が懸念されます。
3. 検査施設としての検査場建物については、全国93箇所の検査場のうち、耐用年数31年を超えた検査場が全体の28%、26箇所あり、施設についても老朽化が進んでおり、中には、昭和30年代建築の著しく老朽化したものも7箇所あります。
耐用年数超えの検査場については、建物の適切な保全を図るため、建物の状態等に応じ、建替え又は大規模改修を行う必要があります。
また、全体の53%にあたる49箇所の検査場が新耐震設計基準が適用されていない昭和56年以前の建築となっているため、当法人では、これらの検査場について、受検者に安心してご利用いただける検査場を目指し、検査場の耐震診断を順次進めております。
4. 当法人では、平成19年度からの第2期中期計画について、この検査機器・施設老朽化問題の改善も念頭において中期計画を検討してまいります。
今後とも、公正・中立な検査を行うべく、検査機器・施設の適切な維持管理について、引き続き努力してまいりますので、受検者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ先

〒160-0003 東京都新宿区本塩町8-2 住友生命四谷ビル
自動車検査法人本部 業務部技術課 池村、平井
電話 03-5363-3441 (代表)
03-5363-3573 (直通)

検査機器の老朽化



検査施設の老朽化

